

參考資料

(1) 用語一覧

あ行

アクセス _____

目的地への連絡のための交通の便や手段。

アミューズメント _____

娯楽、楽しみ。

アメニティ _____

心地よさや快適さ。快適な環境を表す概念。

異常降雨 _____

降水量が、大雨警報の基準を超えるなどの激しい雨。

インフラ（インフラ・ストラクチャー） _____

道路、鉄道、公園広場、上下水道、通信施設、港湾、空港、河川等といった日常生活において根本的な役割を果たす公的な施設。

ウォーターフロント _____

河川や海に面する水際の地域。

オープンスペース _____

公園や広場などのゆとりある空間。開けた空間・場所。

か行

合併処理浄化槽 _____

生活雑排水とし尿をあわせて処理する浄化槽のこと。し尿のみを処理する単独処理浄化槽に比べ、水質汚濁物質の削減量が極めて多い。

蒲郡八景 _____

五井山山頂から見る風景や、海上から見る三谷温泉とヨットなど、四季を彩る風光明媚な本市を代表する八つの景観のこと。

観光漁業 _____

観光客を対象とした、潮干狩や朝市、晩市などのこと。

観光農園 _____

みかん狩りや、イチゴ狩りなど、娯楽を主とした農園。

近隣住区 _____

地域社会における生活共同体としての基礎的な単位。通常、小学校区を中心とする人口8000人から1万人程度の区域が1つの単位。

グリーンベルト _____

樹林などからなる一連の帯状の緑地。

経営耕地面積 _____

土地台帳上の地目や面積に関係なく、農家が経営している耕地の面積。

交流人口 _____

蒲郡市に住んではないが、観光、通勤、通学、通院、買物などで本市を訪れる人口のこと。

コミュニティ _____

地域で共同して、よりよい生活条件や社会関係を実現するために取り組む活動や、組織のこと。

さ 行

里山 _____

人里近くにあって人々の生活と結びついていた山、森林。

市街地再開発事業 _____

市街地の土地の合理的で健全な高度利用と都市機能の更新を進めるため、都市再開発法に基づいて、建築物と建築敷地の整備にあわせて、公共施設の整備を行う事業。

自然公園 _____

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、国民の保健に資することを目的としている。国立公園、国定公園、都道府県立自然公園の三種がある。

住区基幹公園 _____

住民の生活行動圏に配置される小規模な公園で、都市計画で位置づけられた、街区公園、近隣公園、地区公園が含まれる。

住民会議 _____

「地域のまちづくり」について、市民が考える「機会」と「場」を設け、都市計画の側面から、より良い蒲郡を目指し、意見交換を行うことを目的とした会議。

循環型社会 _____

地球環境を意識して、有限な資源やエネルギーをできるだけ節約し、「もの」を徹底的に再資源化し廃棄物を出さない社会。

準用河川 _____

河川法が適用されない普通河川のうち、市町村が特に指定したもの。これらの河川については、二級河川に関する規定が準用される。

新エネルギー _____

自然エネルギーを利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効利用したエネルギー。

親水性護岸 _____

単なる治水機能だけでなく、誰もが容易に水に親しめるように整備した護岸。

ストリートファニチャー _____

街を彩るための施設のこと。例えば、バスの停留所、公衆電話ボックスなどの建造物やベンチ、街路灯、郵便ポストなどが含まれる。

生産年齢人口 _____

年齢が15～64歳の人口。

製造品出荷額等 _____

1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、製造工程から出た廃物の出荷額などの合計。

セカンドライフ _____

退職後などにおける次の生活。団塊の世代の退職に伴い、趣味や余暇などの豊かな時間を過ごせる場所が求められている。

セットバック _____

ある基準の線よりも後退して建物を建てること。

た 行

体験農園 _____

生産者が自分の農園を使い、農業体験を望む人に農作物の作り方を教える農園。

耐震強化岸壁 _____

大規模な地震が発生した時に、被災直後の緊急物資及び避難者の海上輸送を確保するために、大型の地震にも耐えられるように設計された岸壁。

耐震性貯水槽 _____

普段は配水管の一部として使われるが、地震などの緊急時には、水を溜めて、飲料水や消火用水として使えるようにする設備。

耐震補強 _____

耐震診断の結果を踏まえ、その住宅に応じた弱点である壁や基礎を強化すること。

中高層共同住宅 _____

地階を除く階数が3階以上の共同住宅。

超高齢社会 _____

人口に占める65歳以上の割合が21%を超えている社会構造。

鳥獣保護区 _____

鳥獣の保護を図るため、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域。

(都) _____

都市計画道路の略称

特殊公園 _____

都市公園法に基づく都市公園の一種で、風致公園、動植物公園、歴史公園などの総称。

都市基幹公園 _____

都市公園のうち、都市の骨格を形成する大規模な公園であり、市民全般を対象としたもの。具体的には総合公園と運動公園によって構成される。

土砂災害危険箇所 _____

土石流や地すべり、がけ崩れによる被害を受ける恐れがある箇所。

都市緑地 _____

都市公園法に基づく都市公園の一種で、都市の自然環境の保全・改善、都市景観の向上を図るために設けられる緑地。

土地区画整理事業 _____

公共施設の整備と宅地の利用増進を進めるため、土地区画整理法に基づいて、土地の区画の形質の変更と公共施設の整備を行う事業。

土地利用の高度化 _____

日照や風通しなどを確保しつつ、建物の高層化や未利用地の有効活用など、土地を有効的に活用すること。

トリップ _____

人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位。例えば、朝、自宅を出て会社に到着し、夕方に会社を出て自宅に帰った場合は、出勤1トリップ、帰宅1トリップの合計2トリップとなる。

な 行

年少人口 _____

年齢が0～14歳の人口。

農業集落排水処理施設 _____

農業用水の水質保全、農村の生活環境改善、自然環境の保全などを目的として、農林水産省の補助事業により整備するもので、公共下水道とほぼ同様の機能を持つ施設。

農業粗生産額 _____

1年間に生産された農産物や加工農産物を販売して得た利益額。

ノンステップバス _____

乗降口や通路の床面に段差が無く、誰もが楽に乗り降りできる機能を備えた人にやさしいバス車両。

は 行

パーク・アンド・ライド _____

最寄の駅や停留所、目的地の手前まで自動車で行って駐車し、そこから鉄道やバスに乗り継ぐ移動方式。交通渋滞対策及び環境汚染対策の一環として推進されている。

パートナーシップ _____

上下や主従の関係でない対等な関係。

白砂青松 (はくしゃせいしょう) _____

白い砂浜と青々とした松原。美しい海岸の景色。

パブリックコメント _____

政策決定過程で、市民参加の拡大、公正の確保、透明性の向上を図り、協働によるまちづくりの推進を図る仕組み。

ファサード _____

一般的に建築物の正面玄関側の立面のこと。

普通河川 _____

河川のうち、一級河川、二級河川又は、準用河川に指定されておらず、河川法が適用されない河川。

プロムナード _____

歩行者用の公共空間で、散策し、回遊することができる空間。

ポケットパーク _____

「ベストポケットパーク」の略で、チョッキのポケットほどの公園という意味。わずかなスペースを利用して都市環境を改善しようとするもの。

保全緑地 _____

緑地保全地区のうちの緑地や、都市公園・自然公園内の緑地など、緑地の保全が個別の法例などによる担保されたものの総称。

ポテンシャル _____

潜在能力、潜在的な発展の可能性。

ボードウォーク _____

木製、板張りで整備された散策道、遊歩道のこと。

ま 行

まったり _____

ゆっくりしたさま。のんびりしたさま。くつろいださま。

や 行

遊休農地 _____

耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。

ユニバーサルデザイン _____

あらゆる体格、年齢、能力あるいは障害の度合いに関わらず、最大限可能な限り、全ての人に利用しやすい製品及び環境等のデザイン。

用途地域 _____

都市機能の維持・増進、居住環境の保護などを目的とした土地の合理的利用を図るため、都市計画法に基づき、建築物の用途、容積率、建ぺい率などについて制限を行う制度。

用途の純化 _____

住宅地、商業地、工業地などが互いに混在しないようにすること。

ら 行

ライフサイクルコスト _____

計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる費用全てのこと。

ラグーン _____

入り江、湾。

ランドマーク _____

ある地域の目印となる印象的な景観要素。

流出人口 _____

当該市区町村から他の市区町村へ通勤・通学する人口。

流入人口 _____

他の市区町村から当該市区町村へ通勤・通学する人口。

レクリエーション _____

仕事や勉強などの疲れを癒し、精神的・肉体的に新しい力を盛り返すための休養、娯楽。

連続立体交差事業 _____

道路と鉄道の平面交差を立体化することで、踏切をなくし、交通の円滑化と安全性を向上させる事業。地域の発展と生活の利便性も向上することが期待される。

レンタサイクルシステム _____

鉄道駅や市街地中心部などで、自転車を貸し出すことで不特定多数の利用者が効率的に自転車を利用できるシステム。

高齢人口 _____

年齢が 65 歳以上の人口。

(2) 蒲郡市都市計画マスタープラン策定委員会

資格	氏名	職名
策 定 委 員	○ <small>わた なべ あき ひこ</small> 渡 邊 昭 彦	豊橋技術科学大学建設工学系教授
	<small>こ いけ たか ひろ</small> 小 池 高 弘	蒲郡商工会議所副会頭
	<small>いし だ やすたろう</small> 石 田 康太郎	中部繊維ロープ工業協同組合理事長
	<small>すい とう しょう じ</small> 水 藤 昭 二 (前) 白川 孟	蒲郡市農業委員会会長
	<small>ひら の しげ お</small> 平 野 重 男	蒲郡市土地改良区理事長
	<small>たか だ ひろ こ</small> 高 田 弘 子	都市調査室代表 名古屋市立大学芸術工学部非常勤講師
	<small>し が えみ こ</small> 志 賀 笑 子	愛知県環境保全推進委員
	<small>さか べ てつ お</small> 坂 部 哲 雄 (前) 鈴木久裕 (前) 壁谷隆道	蒲郡市総代連合会会長
	<small>いし かわ たづ こ</small> 石 川 たづ子	蒲郡市ボランティア連絡協議会代表
	<small>かね こ てつ ぞう</small> 金 子 哲 三	NPO市民クラブ理事長
オブザーバー	<small>まき ほら かずもと</small> 牧 原 一茂登	愛知県東三河建設事務所事業調整監
	<small>すず き ひで やす</small> 鈴 木 秀 育 (前) 堀田信寿	愛知県建設部都市計画課課長補佐

○会長

※敬称略

(3) 絵の作者

表紙 …市川雅子 (蒲郡市竹谷町)

裏表紙…鈴木志依 (第5回蒲郡都市景観賞受賞作品)

※敬称略